

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 28 年 2 月 18 日 (2016.2.18)

【公表番号】特表 2015-514248 (P2015-514248A)
 【公表日】平成 27 年 5 月 18 日 (2015.5.18)
 【年通号数】公開・登録公報 2015-033
 【出願番号】特願 2015-500669 (P2015-500669)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 12/00 (2006.01)

G 0 6 F 9/52 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 12/00 5 1 8 A

G 0 6 F 12/00 5 3 5 C

G 0 6 F 9/46 4 7 5 C

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 12 月 22 日 (2015.12.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数のリソースマネージャに対してトランザクションをリカバリする方法であって、前記方法は、

前記複数のリソースマネージャの中のリソースマネージャを決定リソースとして指定することを含み、前記決定リソースはコミットすべき未処理のトランザクションのリストを維持しており、

前記複数のリソースマネージャの中の各リソースマネージャからインダウトトランザクションのリストを取得することと、

前記複数のリソースマネージャの中の少なくとも 1 つの前記リソースマネージャに対して、前記インダウトトランザクションのリストの中の 1 つ以上のインダウトトランザクションをコミットすることを含み、前記 1 つ以上のインダウトトランザクションは、前記決定リソースから与えられた前記コミットすべき未処理のトランザクションのリストと一致する、方法。

【請求項 2】

トランザクションをリカバリするためのシステムであって、前記システムは、

トランザクションマネージャと、

中間層トランザクションシステムにおいて前記トランザクションマネージャと通信する複数のリソースマネージャとを備え、

前記トランザクションマネージャは以下のステップを実行するように動作し、前記ステップは、

前記複数のリソースマネージャの中のリソースマネージャを決定リソースとして指定することを含み、前記決定リソースはコミットすべき未処理のトランザクションのリストを維持しており、

前記複数のリソースマネージャの中の各リソースマネージャからインダウトトランザクションのリストを取得することと、

前記複数のリソースマネージャの中の少なくとも 1 つの前記リソースマネージャに対

して、前記インダウトトランザクションのリストの中の1つ以上のインダウトトランザクションをコミットすることを含み、前記1つ以上のインダウトトランザクションは、前記決定リソースから与えられた前記コミットすべき未処理のトランザクションのリストと一致する、システム。

【請求項3】

前記トランザクションマネージャは、前記複数のリソースマネージャの中の少なくとも1つの前記リソースマネージャに対して、前記インダウトトランザクションのリストの中の1つ以上のインダウトトランザクションをロールバックするように動作し、前記1つ以上のインダウトトランザクションは、前記コミットすべき未処理のトランザクションのリストと一致し得ない、請求項2に記載のシステム。

【請求項4】

前記トランザクションは2フェーズコミットトランザクションである、請求項2または3に記載のシステム。

【請求項5】

前記トランザクションマネージャは、前記2フェーズコミットトランザクションにおける準備フェーズの実行前に、トランザクション中間層システムのための構成において前記決定リソースを持続させるように動作する、請求項4に記載のシステム。

【請求項6】

前記トランザクションマネージャは、

前記決定リソースを、前記複数のリソースマネージャの中のその他すべてのリソースマネージャの準備後に準備することと、

前記決定リソースを、前記複数のリソースマネージャの中のその他すべてのリソースマネージャのコミット後にコミットすることとをさらに含むステップを実行するように動作する、請求項2～5のいずれか1項に記載のシステム。

【請求項7】

前記複数のリソースマネージャの中の少なくとも1つのリソースマネージャは前記トランザクションの不参加者である、請求項6に記載のシステム。

【請求項8】

前記トランザクションマネージャは、前記決定リソースから返されたインダウトトランザクションのリストを、前記複数のリソースマネージャの中のその他すべてのリソースマネージャをリカバリした後にコミットするように動作する、請求項2～7のいずれか1項に記載のシステム。

【請求項9】

前記トランザクションマネージャは、

前記決定リソースから返されたインダウトトランザクションのリストから、グローバルトランザクションテーブル(GTT)をビルド/リビルドすることと、

各インダウトトランザクションを前記GTTと比較することとをさらに含むステップを実行するように動作する、請求項2～7のいずれか1項に記載のシステム。

【請求項10】

前記トランザクションマネージャは、

前記決定リソースに、前記トランザクションに登録されている前記複数のリソースマネージャの中の参加者リソースマネージャのリストを送ることと、

前記参加者リソースマネージャのリストがリカバリされるまで、前記決定リソースをリカバリ前に待機させるよう構成することとをさらに含むステップを実行するように動作する、請求項2～7のいずれか1項に記載のシステム。

【請求項11】

実行されるとシステムに以下のステップを行なわせる機械読取可能なプログラムであって、前記ステップは、

複数のリソースマネージャの中のリソースマネージャを決定リソースとして指定することを含み、前記決定リソースはコミットすべき未処理のトランザクションのリストを維持

しており、

前記複数のリソースマネージャの中の各リソースマネージャからインダウトトランザクションのリストを取得することと、

前記複数のリソースマネージャの中の少なくとも1つの前記リソースマネージャに対して、前記インダウトトランザクションのリストの中の1つ以上のインダウトトランザクションをコミットすることを含み、前記1つ以上のインダウトトランザクションは、前記決定リソースから与えられた前記コミットすべき未処理のトランザクションのリストと一致する、機械読取可能なプログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0059

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0059】

次に、トランザクションマネージャ501は、たとえば、トランザクション中間層システム500における、参加しているリソースマネージャ503（ステップ4）および参加していないリソースマネージャ504（ステップ10）を含む、その他すべてのリソースマネージャに対して、XA_recover()コールを行なうことによって、リカバリしようと試みることができる。